

オープンイノベーションをテーマとしたセミナー「Meet BI」を初開催 ～当社会長やグローバル責任者がイノベーション戦略や日本への期待を説明～



2023年10月23日

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役会長 兼 社長:ヤンシュテファン・シールド、以下、日本ベーリンガーインゲルハイム)は、2023年9月28日(木)、オープンイノベーションをテーマとしたセミナー「Meet BI」を、クリエイティブラボ神戸(CLIK)で開催いたしました。今回が初開催となるイベントでは、当社のヤンシュテファン・シールド代表取締役会長兼社長のほか、エクスターナルイノベーションおよびベンチャーファンドを担当する各グローバル責任者ら計4人が登壇。当社のパートナーリング・スコープやスタートアップ支援策、日本をはじめとするアジアのスタートアップ企業への期待などについても語りました。(下記詳述)

ヤンシュテファン・シールド (日本ベーリンガーインゲルハイム 代表取締役会長 兼 社長):
「世代を超えて生活を変革する」これは当社のスローガンではなく、パーパスです。このパーパスは、①革新的な医薬品を通して、人と動物の生活を変革すること ②当社は株式非公開であり長期的なアプローチを実施すること、これら2つの観点から構成しています。この戦略をもとに、グローバルで10%以上の成長率を記録し、イノベーションに関しては50億ユーロ(約6,900億円)^{*}の研究開発への投資を行ってきました。日本でビジネスを展開してから60

年が過ぎ、生産拠点や研究施設を持ち、昨年は100万人以上の日本の患者さんの治療に貢献しました。現在は肺線維症など希少疾患の領域にも注力しています。日本のイノベーションへの取り組みとして、企業だけではなく、アカデミアともネットワークを構築し、革新的な医薬品の研究開発を目指しています。当社の医学賞「ベルツ賞」を通して、臨床上の課題に取り組む研究にも目を向けています。このように、日本のサイエンスに強くコミットしており、今後、日本からグローバルに向けて、イノベーションをどう届け、展開していくのかを考えていきます。

*日本円は参考のために表示したもので、1ユーロ=約138.0円で計算

デトレフ・メネリッヒ (グローバル事業開発&ライセンスング ヘッド):

当社のパイプラインには現在50以上の新規化合物が臨床開発段階にありますが、その半分以上が外部のイノベーションによるものです。当社では今後7年間に20の製造販売承認を見込んでいます。心腎代謝疾患や肺線維症、肺がんをはじめとしたオンコロジー、統合失調症などのメンタルヘルス、そして網膜疾患などにも対応していく中で、外部との提携やコラボレーションが必要になります。既に、日本だけでなく中国、ヨーロッパ、アメリカで150以上の学術組織と協力していますが、持続可能なパートナーシップをさらに求めています。世界中でイノベーションやデジタル変革がある中で、先に挙げた領域にとどまらず、幅広い医療ニーズに対応していきたいと考えています。スタートアップ企業や起業家支援プログラムとしては、今回開催する「イノベーション・プライズ」で若手研究者を支援したり、無償の個別メンタリングで専門的なアドバイスを提供する「Office Hours(オフィスアワーズ)」、設定したトピックに関して、社外の専門家にも加わっていただき、対話やアイデア交換を行う、ネットワーキングの場「BI Academy (アカデミー)」も設けています。

マーク・ペトロンスキー (リサーチ・ビヨンド・ボーダーズ グローバルヘッド):

私たちリサーチビヨンドボーダーズ(RBB)では、既存のフォーカス領域から枠を広げて、新しい疾患領域やモダリティ、アイデアで社外との連携を目指しています。現在は神戸やアメリカ、オーストリアを含む世界7拠点で展開しており、外部パートナーと当社の両方のニーズを満たす形で協業しています。医療ニーズが高く、治療法がまだない領域で、ファーストインクラスとなる可能性があるものを探索しています。RBBが現在ターゲットとしている領域には、遺伝子疾患、再生医療、遺伝子治療/アデノ随伴ウイルス(AAV)が含まれます。

日本では既に京都大学などとのパートナーシップがありますが、最先端のサイエンスにおける連携をさらに拡大していきたいと考えています。こうした考えを背景に、化合物の無償提供を行ったり、外部から研究提案の募集や、課題へのソリューションを求めるオープン・サイエンスポータル「opnMe(オープンミー)」も展開しています。

フランク・カークブレナー (ベーリンガー・インゲルハイム・ベンチャーファンド グローバルヘッド):

RBB などと協業しながら、スタートアップ企業等への投資を行っています。私たちの活動は13年前から始まりましたが、ヨーロッパやアメリカ、アジアにおいて、既に3億ユーロ以上の投資実績があります。投資企業数としては60以上に上ります。科学的データに基づき、5~10年先を見据えて、イノベティブなテクノロジーの開発が見込めるものに投資を行っています。連携の際のゴールは、テクノロジーの当社パイプラインへの貢献で、財務的ゴールは設けていません。現在フォーカスしている領域は、腫瘍免疫療法、再生医療、薬剤耐性菌感染症(AMR)、デジタルヘルスなどで、これまで11のイグジット例があります。デジタルヘルスは今後とくに重要となってくる領域と考えており、7つの企業に投資を実施しています。我々はヨーロッパやアメリカ、香港等を拠点に活動していますが、残念ながら日本にはまだ拠点がありません。日本に拠点を置くかどうかについては今後積極的に検討していきます。

「Meet BI」は、同日に行われた、スタートアップ企業などによる創薬分野の革新的なアイデア・プロジェクトのピッチプレゼンテーション・コンテスト「第5回ベーリンガーインゲルハイム・イノベーション・プライズ・イン・ジャパン」(後援:神戸市/(公財)神戸医療産業都市推進機構、協賛:神戸都市振興サービス株式会社)に先立って開催いたしました。

お問い合わせ先:

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
コーポレートアフェアーズ

Tel. 03-6417-2145

Fax. 03-5435-2920